

服用に際し、この説明書を必ず読むこと。また、必要なとき読めるように大切に保管すること。

かぜ薬

悪寒・発熱・関節の痛み

第2類医薬品

アナクール葛宝G

製品の特徴

アナクール葛宝Gは、悪寒、発熱、筋肉の痛みなどの症状にはたらく漢方薬「葛根湯エキス」に、発熱、関節の痛み、のどの痛み、せきなどのかぜの諸症状を和らげる4つの成分と、発熱時に消耗しやすいビタミンB₁を配合したかぜ薬です。



使用上の注意



してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる。)

- 次の人は服用しないこと。
 - 本剤によるアレルギー症状を起こしたことがある人。
 - 本剤または他のかぜ薬、解熱鎮痛薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
- 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないこと。
他のかぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮咳去痰薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬（鼻炎用内服薬、乗物酔い薬、アレルギー用薬）。
- 服用後、乗物または機械類の運転操作をしないこと（眠気があらわれることがある）。
- 服用時は飲酒しないこと。
- 長期連用しないこと。



相談すること

- 次の人は服用前に医師または薬剤師に相談すること。
 - 医師または歯科医師の治療を受けている人。
 - 妊婦または妊娠していると思われる人。
 - 高齢者。
 - 本人または家族がアレルギー体質の人。
 - 薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
 - 次の症状のある人。
高熱、排尿困難。
 - 次の診断を受けた人。
甲状腺機能障害、糖尿病、心臓病、高血圧、肝臓病、腎臓病、胃・十二指腸潰瘍、緑内障。
- 次の場合は、直ちに服用を中止し、この説明書をもって医師または薬剤師に相談すること。
 - 服用後、次の症状があらわれた場合。

関係部位	症状
皮ふ	発疹・発赤、かゆみ
消化器	悪心・嘔吐、食欲不振
精神神経系	めまい
その他	排尿困難

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐにじんましん、浮腫、胸苦しさなどとともに、顔色が青白くなり、手足が冷たくなり、冷や汗、息苦しさなどがあらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死症 (ライエル症候群)	高熱を伴って、発疹・発赤、火傷様の水ぶくれなどの激しい症状が、全身の皮ふ、口や目の粘膜にあらわれる。
肝機能障害	全身のだるさ、黄疸（皮ふや白目が黄色くなる）などがあらわれる。
間質性肺炎	空せき（たんを伴わないせき）を伴い、息切れ、呼吸困難、発熱等があらわれる。（これらの症状は、かぜの諸症状と区別が難しいこともあり、空せき、発熱等の症状が悪化した場合にも、服用を中止するとともに、医師の診療を受けること。）
ぜんそく	

- 5～6回服用しても症状がよくなる場合。
- 次の症状があらわれることがあるので、このような症状の継続または増強が見られた場合には、服用を中止し、医師または薬剤師に相談すること。
口のかわき。

成分分量

3包（成人1日量）中

（1包 1.5g）

成 分	分量	は た ら き
アセトアミノフェン	600mg	炎症を抑え、発熱、頭痛・関節の痛みなどを緩和します。
d-クロルフェニラミンマレイン酸塩	3.5mg	くしゃみ・鼻水・鼻づまりなどの症状を緩和します。
チベジジンヒベンズ酸塩	75mg	せきを抑え、たんを出しやすくします。
無水カフェイン	150mg	頭痛を緩和します。
チアミン硝化物(ビタミンB ₁)	25mg	発熱時に消耗しやすいビタミンの補給。
葛根湯エキス	1605mg (原生薬として 8025mg相当量)	かぜの初期に見られる悪寒、発熱、筋肉の痛みなどの諸症状を和らげます。

添加物として乳糖水和物、トウモロコシデンプン、リン酸水素Ca水和物、ヒドロタルサイトを含有する。

用法用量

次の1回量を1日3回 食後なるべく30分以内に服用する。

年 令	1回量
成人（15才以上）	1包
11才以上 15才未満	2/3包
7才以上 11才未満	1/2包
3才以上 7才未満	1/3包
3才未満	服用しないこと

〈用法用量に関連する注意〉

小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること。

効能効果

かぜの諸症状（鼻水、鼻づまり、くしゃみ、のどの痛み、せき、たん、悪寒、発熱、頭痛、関節の痛み、筋肉の痛み）の緩和。

保管および取扱い上の注意

1. 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること。
2. 小児の手のとどかない所に保管すること。
3. 他の容器に入れかえないこと（誤用の原因になったり品質が変わる）。
4. 1包を分割した残りを服用する場合には、袋の口を折り返して保管し、2日以内に服用すること。
5. 表示の使用期限を過ぎたものは服用しないこと。

【問い合わせ先】

1. 購入した薬局・薬店
2. 日水製薬株式会社 お客様相談窓口 電話：03-3837-0987
受付時間：午前10時～12時、午後1時～5時
（土・日・祝日を除く）



製造販売元
日水製薬株式会社
東京都台東区上野 3-23-9

副作用被害救済制度の問い合わせ先

（独）医薬品医療機器総合機構 <http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html> ☎ 0120-149-931